

第4回 編集部会まとめ

開催日時：平成18年5月14日（日）17時35分から20時10分

出席者（敬称略）：杉山、高山 岩崎、鱒沢 窪田、山下

小宮 橋本、平松 土屋、高野

【議事】（概要）

1 各分科会からの提案について

- ・第1分科会は、6分科会の提案内容次第だが、動いても可と考える
- ・大項目の順番を変えたらどうか。「楽しもう新宿」の意味がよく解らない。教育をどの位置づけるのか。理念をどこに入れるのか？
- ・第2分科会は、大項目のタイトル案について、他の分科会の意見を聞いて決めたい。
 - 「人をはぐくみ、こころ豊かに暮らせるまち」
 - 「ともに育ちあい、くらしを築く」
- ・第3分科会は、
 - 水辺と森の環
 - 防災に関して項目を分ける
 - 自治の話。具体的な仕組みとして、第3分科会の中項目を新たな小項目として「超高層ビル」の肯定的な点について、第5分科会の中項目に追加したい。
- ・6分科会の提案。全体の中で教育は大きな項目。大項目ののところ教育が土地の記憶と再生 環境に配慮、総合的、一緒に
- ・4分科会は、に環境をまとめ。中項目として細分化。
- ・協働・自治制度、議論の中で出てきたが、小項目では触れていない。抽象的なこと。大項目で謳いたい。きりが無い。
- ・分科会単独等については、異論が無ければ了承したい
- ・4本柱の順番の理由はなにか。
- ・土地、歴史の過去があつての新宿、主張として最初に打ち出す。2番目に生活、3番目に彩りと言うことで産業・文化、4番目に仕組み等
- ・人があつて、地域ではないか。現行体系もそうである。
- ・区民主体という総論的なものがはじめにくると良いのではないか。
- ・以下に決定
 - 1 区民主体の自治をつくる
 - 2 人をはぐくみ、こころ豊かにくらするまち
 - 3 土地（仮まち）の記憶の再生と環境（仮）の創造
 - 4 楽しもう新宿

- ・人権、教育、ニート、労働はどこに入るのか。仕組みと言うことだとどこに入るのか？
- ・人権はバリアフリーの中で触れてはいる。
- ・大項目ごとではなく、はじめに書くべきではないか。
- ・「はじめに」で、各大項目の理念とは、4つに分けた趣旨など4章ごとに学識委員がA 41枚に書く。内容は学識委員間で調整する。下線分科会がメイン。

- | | |
|---|----------------|
| 1 | 3・ <u>6</u> |
| 2 | 1・2・3 |
| 3 | 3・ <u>4</u> ・5 |
| 4 | 1・3・ <u>5</u> |

2 スケジュール等について

- ・「はじめに」は、1ページで高山委員が書く。あとがきは成富委員に（仮）依頼。
- ・5月30日までに締め切り
- ・事務局から提案の区民委員の一口感想メモを了承。ただし、個人的な誹謗・中傷については載せられないということで送付する。
- ・名簿については、載せることを了解した人のみ調整。

3 次回開催日程

- ・大項目 来週中に作成。22日以降に打合せ
- ・25日（木）13時から（場所未定）
- ・30日（火）9時30分から
- ・最終編集部会で学識委員Aと調整。場合によっては参加可。
- ・提言の書体については、取り決めを守るよう、再調整とのこと。